学校教育

仙石原幼児学園の基本的な教育・運営方針について

Q　基本的な運営方針について、次の3点を伺う。

1　それぞれ違った目的の施設をどのように整理し運営していくのか

2　子どもや保護者または職員に混乱が生じないか

3　運動会や生活発表会などの行事はどのように対応するのか

A　1点目について、幼稚園は、よい環境の中で心身の発達を助長することを目的とする学校教育施設であり、保育園は保育に欠ける乳児または幼児を保育することを目的とする児童福祉施設ですが、当町ではどの子も平等に教育を受けるという観点から、就学前のすべての幼児に同一の保育を行っている。

また、教育、保育にあたる職員は、従来から幼稚園教諭と保育士の両方の免許を持つ者を採用し、教育と保育を区別せず、幼稚園と保育園とも同一の箱根町幼児教育課程に基づいた保育を実践してきており、仙石原幼児学園においても、こうした考えのもとに保育を行うものである。

保育園に併設します子育て支援センターは、2名のアドバイザーを置き、子育て家庭が抱える不安等を解消し、幼稚園、保育園とも連携して子育て支援するものである。

2点目について、幼稚園教諭と保育士とが定期的に合同研修会を行い、幼保一元化に対する研究会を行う中で、職員相互の意志の疎通を図っている。

また、保護者に対してはリーフレット等を配布するとともに説明会などを開催し、理解を得ておりますので、混乱や不安はないと考えている。

3点目について、幼保一元化の中で行事等においても、幼稚園と保育園の行事を別に行うものでなく、仙石原幼児学園の行事として、運動会、生活発表会、園外保育等の合同活動を行い、思い出深い幼児学園生活を送っていただきたいと思っている。

また、幼稚園と保育園の違いから、消耗する教材費などについても、不平等が生じないようにしていきたいと考えている。

庶務

平和問題について

Q　国際観光都市を宣言している箱根町の町長として、観光産業にも多大な影響を及ぼすイラク問題についてどのような見解を持っているのか。

また、質の高い観光地を創造するためにも、現在東富士演習場で行われている自衛隊と米軍による爆音を伴う演習を中止するよう働きかけるべきではないか。

A　戦争のない平和な世の中であることが、最も望ましいものであり、平和があってこそ観光が成り立つものであると考えている。

町議会もイラク問題に対し、平和的解決を望む意見書を決議され、私も平和的な解決が図られることを望んでいましたが、残念ながらイラク攻撃が開始された。この上は一刻も早い戦争の終結と平和回復がなされることを祈念したい。

国際観光地を標榜している当町においては、皆さんが安心して来訪していただき、町の自然や歴史、文化、温泉など豊富な観光資源に触れていただきながら、国民はもとより世界中の方々がこの箱根で交流していただくことを望んでいるものであり、世界平和を願うとともに、日本の平和が脅かされるような事態が発生しないことを強く望むものである。

また、東富士演習場での爆音を伴う演習の中止を求める件については、災害対策や防災訓練など自衛隊の幹部と交流する機会に話をしたい。

いずれにいたしましても、町民憲章にも「国際的感覚を養い、世界の平和に貢献しましょう」とあるように、平和社会の実現に向けての貢献と箱根町を預かる町長として、町民の安全を最優先に考えている。